



株式会社アドナース

京都市西京区大原野西境谷町2丁目14-10
 TEL:075-754-6174
<https://adnurse.co.jp>
 従業員数:130名(うち訪問介護スタッフ40名)
 設立:2010年5月
 主な事業内容:訪問看護・訪問介護・訪問リハビリ・
 居宅介護支援事業・障害児通所支援事業・音楽療
 法事業・視線意思伝達装置販売事業・保育園事業



JOB INFORMATION

正社員募集

「おっちゃんとおばちゃん」の求人広告を見
 て応募です」とお伝えください。

- 2022年3月 大学卒業見込
- 専門学校 卒業生歓迎
- 第2新卒以上 歓迎

訪問介護職員募集

【内容】ご利用者様のご自宅に伺い、食事・入浴のお手伝い・着替え・掃除
 等、普段の生活のサポートをします。また、外出をして買い物や映画を親
 に行くなど、一緒に余暇を楽しむ事もお仕事です。
 【応募資格】初任者研修 / 実務者研修修了者、介護福祉士、無資格の方も
 OK!!(資格取得支援制度あり) 時短社員もOK!(32時間社員・30時間社員)
 【給与】常勤雇用の場合 a+b 247,000円~281,500円
 【内訳】a:基本給180,000円~210,000円 b:職能手当:~40,000円
]、業務手当:10,000円、移動手当:21,000円
 その他:精勤手当:10,000円、
 夜勤手当:5,000円/回、家族手当:配偶者5,000円・子供3,000円
 (3名まで) ※試用期間6か月あり。その間、基本給・職能給は9割支給。
 【勤務地】アドナース洛西・アドナース西京・アドナース西院
 【勤務時間】常勤:週40時間シフト制
 【休日】年間105日相当。
 【休暇】年次有給休暇、パーサー休暇(誕生日の内、好きな日1日)、慶弔休
 暇、産前産後休暇、育児休暇、介護休暇、エンドレスサマー休暇(年1回、3連休)
 【その他待遇】昇給あり(業績による)、賞与年3回(4月・8月・12月)、
 社会保険完備
 【連絡先】まずは一度電話でお問い合わせください。
 TEL:075-754-6174(担当:廣瀬)

データで学ぶ 自宅での療養を望む声に応える

訪問介護・看護

65歳以上の高齢者数は2025年に3,657万人以上となり、2055年には全人口に占める割合の25%、つまり4人に1人が高齢者になる見込みだ。内閣府の在宅医療・介護推進プロジェクトチームのアンケート結果によれば、終末期の療養場所について、「自宅で療養したい」と回答した人が60%以上にのぼった。訪問介護は、まさに住み慣れた場所で暮らしたいと願う多くの人を支える要のサービスなのだ。

出典:●「平成19年度 高齢者の健康に関する意識調査結果(概要版)」調査結果P.26 Q.29SQ1「もし仮に、あなたの身体が虚弱になって、日常生活を送る上で、排洩等の介護が必要になった場合、どこで介護を受けたいですか?」<https://www8.cao.go.jp/kourei/ishiki/h19/kenko/gaiyo/pdf/kekka.pdf>
 ●在宅医療・介護推進プロジェクト 資料3「P10」在宅医療に関する国民のニーズ 療養に関する希望」<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/yosan24/kokaihr/kokai-mhlw-3.pdf>

生活の中に入っていく

世界屈指の長寿国・日本で今、注目の介護職。普段見られない職場を見るべく2人の学生が向かった先は住宅街だ。「介護と聞いて老人ホームを思い浮かべましたが、家に着いてびっくりしました」と疋田さん。そう、アドナースの仕事現場は施設ではなく、「家」だ。介護業界は施設サービスと居宅サービスと大きく2つに分けられ、要介護者の自宅を訪問するのが、訪問介護だ。

この日、訪問したお宅の家族構成は87歳の母と62歳の息子の2人暮らし。認知症のお母さんは要介護度5で、1日のほとんどを寝たきりで過ごす。息子さんは日常的な生活はできるが、足が悪く要介護度1だ。

ヘルパーのTさんは、料理を作っていた。「何味がいい?」と息子さんに聞きながらフライパンで炒める。湯気のとつ炒

め物を箸でつまみながら、「Tさんは料理がうまくなったね」と目を細めるのは、息子さん。以前は料理が不得意だったTさんに、元料理人の息子さんが作り方を教えてくれたのだ。

食後は、お薬カレンダーを見ながら「もう飲んだ?」と確認する。物品を確認し、次回の訪問の日程を確認し、その日の訪問介護の見学は終わった。「終始、あたたかい雰囲気でした」と竹内くん。都度、要望に沿って対応していく姿が印象的だったと振り返る。

アドナースの訪問介護士、廣瀬吉史さんは「必要なのは相手が何を求めているか理解する力」と強調する。「無口な人やおしゃべりな人などいろいろな介護職員がいますが、共通するのは利用者さんが自分の望む生活を選び、自分らしい暮らしができるようサポートすること。ありがとうと直接言われることが多い仕事です」。

私なら在宅療養を選びたい

訪問介護に必要なのは相手の思いを「察する力」だと気づきました。いつか歳をとって、介護される立場になったとき、私はアドナースの訪問介護サービスを受けられたらうれしい。自分の家は落ち着くし、介護職員さんが来てくれたら安心です。

営業にも役立つ対応力

訪問介護は個人の生活に入る仕事。介護職員さんは都度、料理の味付けの好みやお風呂の温度などについて確認していて、対応力が必要だと思いました。既存のモノやサービスを売る仕事と違い、自分自身が商品となる営業の仕事の経験になりそうです。

人材募集
recruitment

業界研究 してみた

訪問介護・看護のアドナースの場合

将来、どんなふうに働きたい? 何の職業に就きたい? まずは「業界研究」から始めよう。訪問介護・看護を専門に事業を展開するアドナースの仕事現場を、学生2人が見学に行った。



疋田美央さん
立命館大学産業社会学部3年生

就職活動中。将来やりたいことは「まだわからない」。気になるのは、会社の人間関係と雰囲気。

竹内淳朗くん
京都産業大学国際関係学部3年生

就職活動中。国際ビジネスに関心が高い。企業などでのインターン経験多数。

見学

母親と息子の自宅に、ヘルパーのTさんが訪問する。この日は夕食を作る、薬や生活に必要な物品を確認する、次の訪問までの予定を確認するのが仕事だ。

料理をするTさん。「もちろん仕事なんですけど、『家に行って、その家事を手伝う』という感覚もあります」

介護をする側のヘルパーさんが、介護を受ける側の息子さんに料理を教わるなんて! 意外な発見でした

母親向けの夕ご飯。シャケは細かくほぐし、ほうれん草のベーコン炒めは小さく刻んで、食べやすくする。同じメニューだが、自分で食べられる息子さん向けは、シャケはほぐさずそのまま出す。